

●館内を動いて参加！

今回のピコピコドルッチャテレビでは、Bスタジオにとどまらず、こどもの城館内のいろいろなところで活動を行いました。「ドルッチャタイムズ」では、当日集まった『こどもレポーター』が館内で遊んでいるいろいろな人にインタビューをして、その内容をまとめて放送しました。知らない人に話しかけるのはとても勇気がいるものです。気分はニュースレポーター！小さい子も一生懸命インタビューしてくれました。本番で一回り大きく成長した我が子の様子に、保護者の方もびっくりしていました。「めざせピコピコテレビマン」では、館内各所にある遊びに参加して、立派なテレビマンを目指すラリーを行いました。いろいろな遊びをしてBスタジオに集まる子どもたちは、誇らしげに認定スタンプを集めていました。「演じる」「作る」「動く」「話す」「ひらめく」・・・たくさんの経験をしたその姿は正にテレビマンそのものっ！？



●スタッフの感想

今回のドルッチャテレビは、事前募集で集まった『こどもディレクター』が大活躍でした。館内を移動し生中継をやったかと思えば、自分たちの生番組を放送し、すぐに当日集まった子どもたちと番組作り。正に縦横無尽に動いて働いていました。限られた時間の中で、みんなを引っ張って、話し合いや準備を進めている様子は、とても頼もしく心強く感じました。当日、緊張して集まった子どもたちも、この姿を見て安心して参加できたことでしょう。即席チームで作ったとは思えないさまざま番組に「やられたー！こうきたかー。」など大人が驚かされていました。また、館内をインタビューして回る『子どもレポーター』や各所に設けた『テレビマン』の遊びを見て、たくさんの人が会場のBスタジオに集まってくれました。ピコピコドルッチャテレビは、出演者、観客みんなが会場を盛り上げることで出来上がります。そういう意味では、そこにいるみんなが制作者なんだなぁと改めて感じました。

いろいろな立場で参加してくれた子どもたちが、他の人のことを考えて、自分や友達がやりたいことに正面から取り組んでいる様子を見られたことを嬉しく思います。遊びを通してやりたいを「出来た」に変えるテレビ局。次回開局の際も、ぜひ会場に遊びに来て下さい。

(ピコピコドルッチャテレビスタッフ 村橋貴博)